

を予測することができるようになると考えられる。

## 9. 謝 辞

本研究のために、これまで数々の協力と支援をして下さった北陸電力(株)技術研究所の方々に厚くお礼申し上げます。また、観測場所を提供して下さり、数々の便宜を図って下さった石川県砂丘地農業試験場の方々に感謝します。

## 参 考 文 献

- Hozumi, K. and C. Magono, 1984: The cloud structure of convergent cloud bands over the Japan Sea in winter monsoon period. *Jour. Met. Soc. Japan*, 62, 522-533.
- 鈴川三男, 遠峰菊郎, 阿部成雄, 道本光一郎, 1987: 小

松周辺の冬季雷雲下の電界分布について, *天気*, 34, 443-452.

Nagata, M., M. Ikawa, S. Yoshizumi, and T. Yoshida, 1986: On the formation of a convergent cloud band over the Japan Sea in winter. Numerical experiments. *Jour. Met. Soc. Japan*, 64, 841-855.

遠峰菊郎, 道本光一郎, 阿部成雄, 1986: レーダーによる小松周辺の冬季雷の研究, *天気*, 33, 445-452.

遠峰菊郎, 鈴川三男, 道本光一郎, 1987: 地表電界値による航空機の被雷防止法, *天気*, 34, 769-773.

八木正充, 1985: 冬期の季節風の吹き出し方向に対しておおよそ直交する方向にロール軸をもつ大規模な雷雲, *天気*, 32, 175-187.

八木正充, 村松照男, 内山徳栄, 黒川信彦, 1986: 大陸沿岸の地形の影響を受けた日本海上の帯状収束雲と Cu-Cb ライン, *天気*, 33, 453-465.

## 第13回風工学シンポジウム開催と発表論文募集

〈共催〉電気学会, 土木学会, 日本気象学会, 日本建築学会, 日本鋼構造協会, 日本風工学会(幹事学会)

期 日 平成6年11月30日(水), 12月1日(木),  
2日(金)(予定)

会 場 日本学術会議講堂

### 発表論文の募集

#### (1)課題

(a)風の性質, (b)環境と風, (c)風災害, (d)気流・風圧・風力およびその制御, (e)構造物の応答およびその制御, (f)耐風設計, (g)計測方法・風洞実験法, (h)数値解析法, (i)その他, 風工学に関するもの

#### (2)応募論文原稿

- フルペーパーによる査読が行われる。採否の判定の基準は査読つきの専門学会誌・技術誌(例えば, 共催学協会の論文集)と同程度とする。
- ページ数は6ページ以内(和文論文では英文概要などを含む)の偶数ページとする。
- 英文論文も可とする。

4) ワープロなどによってオフセット印刷用完成原稿(フルペーパー)を作成する。和文, 英文の場合とも投稿要領に記載の執筆要領, 体裁規則にしたがって作成する。

5) 登載が認められた場合10,000円の登載料を負担する。

6) 別刷50部を無料進呈する。別途注文は受け付けない。

#### (3)投稿要領

原稿用紙の請求先および原稿提出先

〒106 東京都港区六本木7-22-1

東京大学生産技術研究所 村上研究室内

第13回風工学シンポジウム運営委員会事務局

TEL 03-3401-7439 FAX 03-3746-1449

#### (4)原稿提出締切日

平成6年5月31日(火)(必着)。締切り後, ただちに査読作業に入るので延期は一切認められない。原稿はオフセット印刷用原稿(B4版フルペーパー)のコピー(A4縮小版)を提出する。